

テーマ：社会的養護

「医療的ケアの必要なこどもの社会的養護」
～現状と課題～

2026年3月7日(土) 13:00-16:30

基調講演

「医療的ケアの必要なこどもの社会的養護～現状と課題」
九州大学病院 国立大学法人 九州大学
環境発達医学研究センター特任准教授
落合正行 氏

調査研究報告

「医療的ケア児の社会的入院を解消するための調査研究」
医療法人稲生会 理事長 / 生涯医療クリニックさっぽろ 院長
土島 智幸先生
社会福祉法人ワーナーホーム 統括施設長
大久保夏樹



場 所：RCC文化センター 広島県広島市中区橋本町5-11

定 員：40名

参加費：支援協会会員の方 無料

支援協会非会員の方 3,000円



テーマは「医療的ケアを必要とするこどもの社会的養護」です。

...あまり聞きなれないワードかもしれませんが

もしかしたら、と心に浮かぶお子さんやご家族がある方もいらっしゃるかもしれません。

家庭の事情や養育環境の課題などにより、保護者による養育が困難な場合に

子ども達を社会で育てる仕組みはありますが、医療的ケアが必要なゆえに

その仕組みを活用することには壁があります。

救われた命がどんな家庭状況にあっても、健やかに、地域の中で育まれる社会となるには

今私たちになにが求められているのでしょうか。

ブロック研修を通じて、ともに学び、一緒に考えていきたいと思えます。

What's 医療的ケア児等コーディネーター支援協会

2021年9月に医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律が施行されました。法施行により、潜在化していた様々な医療的ケア児の「育ちの支援」と「家族支援」の課題が浮き彫りになり、地域で様々な議論がなされていることと思います。全国で活躍されている医療的ケア児等コーディネーターや多職種で構成される支援者の皆様、医療的ケア児支援センターを運営されている皆様におかれましては、「我が地域で、子どもと家族の在りたい生活をどのようにアセスメントし支援をしていくのか」「その為に地域を創る支援者の養成や連携をどのように展開していくのか」という事について、大きな課題意識をお持ちではないでしょうか。当協会はこのような課題を支援者の皆様をはじめ全国の仲間と共考し、これからの医療的ケア児者への支援を様々な角度から共に学び場の創出、全国規模でタイムリーに情報を共有する機会の必要性を強く感じた仲間と設立いたしました。これまで地域でそれぞれ頑張っている皆さんの横つながりを創り、地域での支援活動にお役に立てればと思っております。

当協会では、この課題意識に共感していただける共に「学ぶ」「つながる」「相談できる」仲間を募集しております。会員になっていただいた皆様には、先行して研修開催のお知らせ、研修参加費の割引を行います。又、既にご相談いただいておりますが、研修講師の派遣やコンサルテーションなどについても、今後実施していく予定です。当協会にご関心をお持ちいただけましたら、ぜひ協会会員になっていただき、共に医療的ケア児支援から始まる、子ども支援や地域創りを皆さんで考えていきましょう。

医療的ケア児等コーディネーター支援協会 会長 遠山 裕湖
(宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるかあ)

個人会員	6,000円
行政会員	10,000円
支援センター会員	10,000円
法人会員	10,000円

入会はこちらから



Scan Me!

【医療的ケアのあるお友達のことを伝える紙芝居】

難しい言葉ではなく、子ども達に届く言葉で語られるこの紙芝居が、子ども達が必要なケアに関わらず、出会い、仲良くなっていく懸け橋になれることを願い、紙芝居を作成しました。ぜひ、日々の支援にお役立てください。

ご購入はこちらから→

